

最新歯科

救急救命処置 ビジュアルガイド

著 吉田 和市 (神奈川歯科大学学生体管理医学講座教授)

- ◆ バイタルサインの見方、モニターの使い方、全身管理の方法、歯科治療中の救急救命処置の基本手技を、手順がわかるように大きな写真をふんだんに使って視覚的に解説。
- ◆ AHAのBLSガイドラインや高血圧症、糖尿病などの診断基準は、最新のものに準拠。
- ◆ 頻度の高い偶発症の処置等についてはフローチャートにして、切り取って壁等に貼れる巻末付録に。丈夫なラミネート加工。
- ◆ 薬剤の具体的な投与方法もわかりやすく解説。巻末に救急薬品の適応と使い方を一覧表にした「救急薬品と使用方法」を付録。
- ◆ その他、インプラント手術時の鎮静などに使える「全身管理記録表」も付録。
- ◆ AED、パルスオキシメーターなどのモニター、薬剤についても最新解説。



窒息したときのシグナル



急変を発見したら水平位にし、意識があるかないかを確認する

◆ 歯科治療中の意識障害には、不安緊張や疼痛が誘因となって生じる脳貧血、過換気症候群、転換性障害の他に、局所麻酔薬によるアレルギー反応・中毒、エピネフリン過剰反応があることはすでに述べた。さらに、歯科治療がストレスとなり、狭心症や心筋梗塞を代表とする虚血性心疾患の再発、高血圧性脳症、脳梗塞など、すでに存在していた疾患が増悪して生じるものがある。いずれにせよ、何が生じているかを観察し、瞬時に適切な対処をすることが大切である。

救急処置を成功させるには、患者から情報を十分に聴取し、患者の全身状態を観察することが肝要である。いきなりユニットを倒して口腔内を診ることは避けて、まずはあいさつ代わりに脈拍をとりたいものである。それだけで、患者が緊張しているか、血圧が高いか、発熱しているか、汗ばんでいるか、不整脈があるかなどがわかる上に、信頼感も増す。(本文より)

◆ A4判 132ページ オールカラー 巻末付録：8点
定価8,400円(本体8,000円+税)
ISBN978-4-901894-92-0

砂書房

〒113-0033 東京都文京区本郷3-13-5
TEL 03-3814-6251 FAX 03-3814-6285

砂書房

検索

■本のご注文は歯科材料店さんへ

2

呼吸が認められない患者では、口腔内に
下による気道塞栓や嚥下の危険性があるため、
回復体位（回復位）をとる。



3

呼吸が認められない場合は、回復体位
とオトガイ挙上。顔に片手をあて、もう一
方の手をオトガイの下に当て、顔を上げて
上げるようにする。



4

あご先を上げ、下顎を前方に引っ張る。



5

顔部を後方へ戻らせ、オトガイを挙上す
る。



6

口で下顎内を反対側面になるように持
ち上げる。



V

歯科治療中の救急処置

← 歯科治療時に患者が急変して意識が
なくなった時、呼吸がなくなった時、
気道が確保できない時、口腔内に異物
がある時、心停止が確認された時など
の救急救命処置について、写真をふん
だんに使って手順がわかるように解説。

巻末に、切り取って使える救急救命処
置フローチャートなど8点付録！ ↓

■ AHAガイドライン2010による新しいBLSアルゴリズム ■



チェアの上における

デンタルチェアの上で起こる。心臓は肋骨
は、肋骨の体側とユニットの位置を考慮
すれば、チェアから床への距離は20cm程度
以上の高さ。呼吸は自然ではない。そのよ
うにデンタルチェアの上でも心臓は肋骨が

1

デンタルチェアの上での患者の搬送。



2

声をかけて周囲の両側の確認。



3

顔を上げて奥の両側の確認。



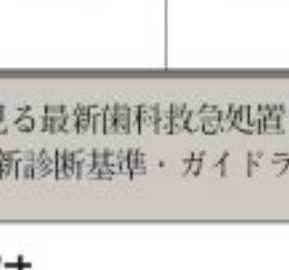
4

顔を上げて奥の両側の確認。



5

顔を上げて奥の両側の確認。



6

顔を上げて奥の両側の確認。



7

顔を上げて奥の両側の確認。



心筋梗塞

↑ 高血圧症、冠動脈疾患、糖尿病、気管支喘
息、脳血管障害など、頻度の高い全身疾患患者
の歯科治療時の注意についてもビジュアル解説。

98

◆ 主な内容目次

- I バイタルサインの観察法
- II モニタリングのための測定機器
- III 頻度の高い全身疾患と歯科治療時の注意
- IV 局所麻酔時あるいは歯科治療時によく見られる全身的偶発症と救急処置
- V 歯科治療中の救急処置
- VI 備えておく救急用品

巻末付録

- 全身的偶発症と救急処置
- 脳貧血の救急処置
- 過換気症候群の処置
- 高血圧症、心疾患、脳血管障害、糖尿病などの既往がある患者
- 診療中に異物を口腔内に落下させたときの除去法
- AHAガイドライン2010による新しいBLSアルゴリズム
- 救急薬品と使用方法
- 全身管理記録表

BLSの順番

- C Airway (気道確保)
- A Chest compressions (胸骨圧迫)
- B Breathing (人工呼吸)

図97 基本のBLSの順番 (AHA, 2010より)



図97 基本のBLSの順番 (AHA, 2010より)



図97 基本のBLSの順番 (AHA, 2010より)

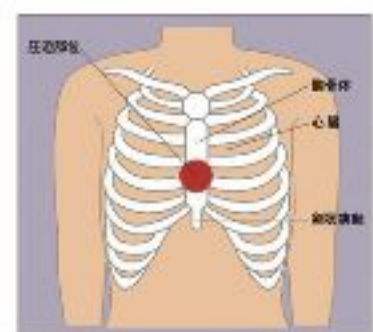


図97 基本のBLSの順番 (AHA, 2010より)



図97 基本のBLSの順番 (AHA, 2010より)

* 本書は、『目で見える最新歯科救急処置ガイド 第2版』に『目で見える最新歯科全身管理ガイド』の
一部を増補し、最新診断基準・ガイドラインに準拠して改訂した新版です。

最新歯科 救急救命処置 ビジュアルガイド

お名前／医院名

TEL

ご住所 〒

●お取扱いは

●発行 砂書房

申込書